



長崎南高校関東同窓会総会 第31回

何かが始まる 新たな鼓動が聞こえる
お江戸の玄関口で会いましょう



第31回長崎南高校関東同窓会

総会・懇親会

2024年10月19日(土)

13時受付 13時30分スタート！！

会場 大丸東京13階

ゼックス東京

03 (6266) 0065

東京駅八重洲北口直結

懇親会費 10,000円

年会費 3,000円もよろしく

お願いします

ちいさなハート
ちいさなタイム
ちいさなマネー
三拍子そろえてご準備い
ただけると幸いです♥

はじめまして

14回生 若杉賢治

このたびの長崎南高関東同窓会総会にて、次期会長を仰せつかる予定の若杉賢治です。

ここまで盛会に継続して下さった先輩方のご期待に添うよう、そして次世代へ確実にバトンを繋げられるよう、精一杯頑張ります。何卒よろしく願っています。

さて、就任前のご挨拶の直後で、大変申し上げにくいのですが、避けては通れないことなので、敢えてふれさせていただきます。

それは、会費(総会懇親会費および年会費)を値上げするということお知らせです。これまで、懇親会費8千円、年会費2千円の合計1万円を長年運営してきましたが、上記の通り、今回より懇親会費1万円、年会費3千円の合計1万3千円にさせていただきます。

4年前のコロナ禍以来、総会をしばらく開催できなかったこともあり、関東同窓会の財政状況が非常に逼迫しており、収入が即支出に消える、いわゆる自転車操業という事態に陥っています。また、その間に諸物価の上昇に伴い総会の開催費用(会場代、飲食費共)も高騰しており、このままでは年に一度の総会の開催すら覚束ない状況なのです。

皆様には、あらゆる物価が上がる中で心苦しい限りなのですが、関東同窓会を今後も存続していくため、ご理解いただけると幸いです。

今回、の世代交代を進め、次世代を担う若い理事たちの企画による新たな総会をお届けできると思っておりますので、ぜひ、皆様お誘い合せの上、ご来場くださいますよう、心よりお願い申し上げます。



⇒ 坂の長崎 どこにある坂??

同窓会はほっとできる場

会長 江 勝 弘 (11回生)

3

長崎南高校関東同窓会の会員の皆様、盛夏の折、いかがお過ごしでしょうか？ 本日はご報告があります。実は今次総会をもって会長を辞したいと思えます。理由は若返りを図るためであり、14回生の若杉さんに次期会長をお願いしたいと考えています。

例えば、前任の小岩寿樹さん(10回生)から会長を引き継いですでに数年が経ちました。その間にコロナ騒ぎがあり、十分に同窓会活動が行えなかったのが心残りです。また総

会開催で収入を得るという自転車操業になってしまい、皆様に会費支援をお願いせざるを得なかったのも申し訳ないことでした。さらに若い人に参加していただくという目標にも成果がありませんでした。このような状況を打開するには、理事会の若返りが必要であると考え、最大勢力になっている12回生の若杉さん・松田さんに事前に打診したところ、次の執行体制を担うことについて快諾いただいたので、総会での正式の引き継ぎを計画しているところです。

*

私としましては、縁もゆかりもない遠方地である長崎から、頼る知り合いもない関東地方に來られてご苦労されている会員の皆様が、ほっとできる場の提供としての関東同窓会ができればと考えて運営に携わってきました。少しでも皆様のお役に立てることがあったのなら、これ以上の喜びはありません。長らく事務局を務めてくださった前田さんも同じ気持ちではないかと思えます。会員の皆様の長らくのご支援、本当に

有難うございました！

*

私は長崎と南高校が大好きです。現在、南高校は進学面では私学などに押され気味と聞いていますが、一方でプラスバンド部などの活躍もあるようです。遠く離れた関東からでは母校への応援も届かないかもしれませんが、関東に同窓会があるというのは、卒業生の安心材料になるの



ではないでしょうか？そういう意味でも関東同窓会活動は今後も継続して活動してほしいと思います。

12回生の若杉さん、松田さん、山本さん、そして彼らが選ぶ新執行部にお任せすれば、きっと今まで以上に盛り上げていただけるのではないかと期待します。

会員の皆様におかれましては、新執行部へのご支援とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。



同窓会幹事から

今年と同窓会で「変面ショー」を楽しみましょう!

「変面ショー」は中国四川省に伝わる伝統芸能 川劇 で披露される大人気の演技
 演者が顔に手を当てた瞬間、男性、女性、動物などの布のカラフルな面を次々と入れ替え
 瞬時に変わるのをどのように変わっているのか?! 何度見ても分からない
 何回面が変わったか、よ〜くよくご覧ください お楽しみに!



○○○○○

○ 江戸に白龍の舞!

○ 16回生 中島康雄

○ 20回生 藤馬寛剛

長崎の秋を彩る「長崎くんち」、今年も間もなく盛大に開催されます。その中で象徴的な演し物が「龍踊り」です。長崎を離れても、あのお囃子だけは忘れられないのではないのでしょうか。

東京では、長崎東高校同窓会の「東龍倶楽部」が青龍を保有し、過去にも南高校関東同窓会で演舞を行っていたきました。多摩川土手で行われるハタ揚げ大会でも、毎年ご覧になった方は多いでしょう。

そんな中、20回生藤馬寛剛君率いるチームが、昨年、諫早市金崎地区から「白龍」を譲り受けました。この地域も龍踊りが盛んに行われていましたが、近年担い手がいなく、舞うことのできないため、譲り受け、江戸に引っ越すことになりました。その後、結納を行い、「江戸龍踊り会」

を結成いたしました。東京では、矢

先稻荷神社で魂入れを行いました。

青龍より一回り大きい女性の龍です。

まだ立ち上げたばかりのチームで、担ぎ手を集めるだけでも大変ですが、

それでもリトル長崎の若者たちをはじめ、数十人のメンバーが、地域の民族文化発展のために集まりました。長崎市出身の若者たち、生まれは長崎でなくてもご両親が長崎生まれだったり、長崎には何のゆかりもなく、白龍に魅了されたという様々な若者たちが白龍に息吹を与えます。

先日、武蔵小山の商店街を練り歩き、辰年の行事に花を添えました。多くの買い物客が物珍しくも集まり、白龍の前で「パチリ!」。龍の迫力に泣き出す子どももいました。長崎人には聞きなれた太鼓とドラ、それに中国ラップの音色がそこら中に響き渡ります。最後はもちろん、「もってこーい!もってこーい!」の大合唱です。

当面の目標は、来年多摩川土手で開催される旗揚げ大会の際に、青龍とともに参加することです。東龍俱



楽部の方々とはまだ距離があり、お許しを頂いておりませんが、これから、日夜練習を重ね、足りない「楽器」や、担ぎ手と奏者を集めていきたいと考えております。

ただ、「江戸龍踊り会」は、まだ結成されたばかりのチームであり、スポンサーもいなければ、応援してくれる方々もわずかです。

そこで、これをお読みの長崎南高OBの方々にお願ひがあります。皆様のご息やご親戚の方々でお手伝いいただける方を募集しておりますので、ぜひ、興味をお持ちの方にお声がけください。

近年の同窓会では、若い人たちの参加がまばらになってまいりました。長崎出身の若者たちの心は長崎から離れつつあるのかもしれない。で

も、彼らにも長崎の血が流れ、長崎くんちのお囃子を聞くと心躍るはずです。江戸白龍という美しい女龍の下に集い、新しい世代の交流の場を作り上げられればと思っております。ぜひ、ご協力いただくとともに、この活動を広めてくだされば幸いです。連絡先 20回生藤馬(とうま)

hirotoomas15@gmail.com

同窓会がつなぎ広げる 人の輪

19回生 橋口徳郎

多くの19回生は、昨年度還暦を迎えました。もう結構イイ歳になってしまいました。12年前に関東同窓会で同世代での幹事の役目をいただいた際に、関東在住の同級生と改めて(中には初めまして!)知り合う機会をいただきました。その連中と、それ以後も呑み会をやってみたり、ゴルフをする人とはそれでも集まってみたりといったやりとりが、

今も続いているのは本当に有難い縁です。

その中で、ゴルフをやるメンバーは全員ではないのですが、南高校だけに止まらず、他の高校の同世代のゴルフプレイヤーにまで付き合いが広がったのも、思いがけない余禄でした。

私自身はその後にいろいろとあって、コロナ禍の頃に長崎に軸足を戻してしまったので、関東での付き合いは縁遠くになってしまいました。

ですが、それで今はその代わりというべきか、長崎での同窓会付き合いに顔を出してみる流れの中にいます。先日、長崎での同窓会総会では、若い世代だと、同期の中で同窓会の旗を振る世話役がない世代が多いとの報告がありました。そしてそれは、先行き同窓会が消滅しかねない、深刻な懸念として議論されていたのに、結構ビックリしました。

こんなに楽しい南高同窓の付き合いが絶えるだなんて、もったいなさすぎます。多くの世代を巻き込んだ活動であり続けてほしいと心から思

います。

関東からみた

長崎海鮮のポテンシャル

21回生 横井慎一

来年還暦の21回生です。今回は「ながさきイズさしみシティ」が正直、一般観光客に響いていない現状を、関東生活を踏まえ書き出してみます。私は1984年に長崎を出て鹿児島で4年、1988年から関東です。長崎の特別を感じないまま、関東で過ごしてきました。

長崎は夜景、軍艦島、くんち、爆竹、見どころ満載。何度も来てもらうには、他県で体験できない「食」こそが重要です。

唐灰汁ちゃんぽんは別として、長崎現地でしか食べられないのは「新鮮な魚」です。長崎人にはスーパー、釣り人のお裾分け、飲食街と身近過ぎます。

逆に関東の魚とは、塩サバ・シャ



ケ、アジの開き、刺身はマグロで、イワシやアジは苦手な方が多いんです。食レポで「魚くさくない」なんて不思議なコメント耳にしますよね。つまり、東シナ海の魚が目的の観光客は稀です。私も最近気づきました。

他県で魚の名所は、富山の白エビ、ホテルイカ、北海道のホタテ、イクラ、高知のカツオ（ひろめ市場）。長崎はどこでしょう。昭和の活気溢れる築町市場はほぼない。観光客目線で魚の食事処が見当たりません。

そこで提案。まず観光客に長崎の海鮮は特別に美味しいことを到着早々体感してもらいましょう。空港のバスまでの導線でアジ、うちわエビを試食してもらおうです。アジニ焼き魚を一掃。うちわエビはフォルムも味も特別。県、市で支援して実現

しましょう。ゆくゆくは、うちわエビ、イカが元気に泳ぐイクス付き魚パークを。

30年以上前、茨城の家内との結納に、築町からタイとヒラメと出刃包丁を手に来てくれた亡き父を思い出します。茨城の皆さんに強い印象に残してくれました。

長崎のポテンシャルはまだまだ活かせていません。共感いただけの方は、一緒に活動しましょう。

気魄と情熱

22回生 浅田ますみ

長崎南高卒業生なら誰もが知っている言葉ですよ。

社会人になってからいっそう、この言葉に助けられている気がします。南高時代は、どちらかというところちこぼれ（笑）。規律も勉強も厳しい時代で、入学式に職員室に生活指導の丸PON先生に呼ばれたことが忘れられません（苦笑）。しかし、それな

りに愉快な仲間と楽しい高校生活であり、卒業式には、1年間クラス全員無欠席を達成し、新聞各紙に掲載された快挙も…。それも厳しくもあり優しい天藤先生のご指導のもと！昨年はその時のクラスメート二人で在校生に崎陽塾でお話をする機会もいただき、光栄でした。

卒業してから守られていた学生時代を振り返ることも多く、長崎や上京してラジオ番組のディレクター時代に、この『気魄と情熱』という言葉を思い出すようになったのは、肉体的にも精神的にもかなりハードな毎日の中、負けないぞって感じて日々活動していたからかもしれません。

それと同時に、古里から離れて東京で仕事してからも、多くの先輩方に助けられ、関東同窓会でも同窓生の皆さんに本当にお世話になっていました。それから、長崎にUターンしたわけですが、今仕事をしている県庁や様々な場所でも本当に南高校の同窓生の方々に助けていただいております（笑）

卒業してから、そう思えることは本当に幸せなことだと感じます。これからも、私の人生は、『気魄と情熱』で突き進んでいきます！



⇒8月11日、同窓会総会のひとコマ

「記憶の」風をあつめて

14回生 手島二郎

はっぴいえんどの「風をあつめて」は、作詞家松本隆が見知っていた東京の風景が、色濃く表現されている。しかしその風景は、今はもうない。長崎の私の生家はなく、近くには昔の町を分断する新しい道ができており、私が知っている町並みはすでにない。

しかし本当にそれらの風景はなくなってしまっているのか。確かに物理的な町並みは消えてしまっているが、歌詞の中には残っている。写真や映像にも残っているかもしれない。そして一人ひとりの記憶の中にも残っているはずである。

長崎から遠く東京の地に住んでいる私にとって、高校卒業まで暮らしていた長崎の記憶は、年齢を重ねるごとに薄らいでいる。しかしその時代に起きた社会的事象は、ネットの

普及もあり多くアーカイブされている。私は今、不鮮明になりつつある自らの記憶を、アーカイブされている集合知に紐づけることを始めている。そしてその一部は、南高卒業生の記憶とリンクすることもあるかもしれない。手始めに、1983年8月7日、福岡の小戸ヨットハーバーで行われた伝説的ライブ、「福岡スーパーライブ」⁸³に行かれた方はいないだろうか。あの時、あの場所であつた風の記憶を、ずぶ濡れになりながら張り上げた声を、一緒にあつめてみたいものである。



名所旧跡がいつぱいの長崎 ⇒これはどこにあるでしょうか

新事務局として

14回生 松田嘉弘

今次総会にて事務局長という大役を仰せつかる予定の松田です。よろしくお願い申し上げます。

私自身は、2007年(平成19年)総会にて14回生が懇親会幹事となつた際に初めて関東同窓会にかかわることになりましたので、かれこれ17年となりますが、会全体の運営にかかわるのは今回が初めてです。

言わずもがなではありませんが、前田事務局長・元会長があまりに偉大でありますので、そのうちのどれほどのことができるのか、はなはだ不安な限りではあります。諸先輩方が築いてこられたこのつながりを、より広くより強固にして、さらに次世代に引き継ぐべく努力いたしますので、皆様方のご協力、ご指導ご鞭撻なにとぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の会報につきましては、

当初前田さんからは主導するように言われていたのですが、いかんせん会報作成・発送の全工程にわたってなんらノウハウがないため、結局前田さんにおんぶにだつことになってしまいました。来年からは独り立ちしなければならぬので、これではいっただいどうなることかと思いましたが、幸い若く才能にあふれ、かつ意欲に満ちたたくさんの方々に新理事として集まってくれました。

そしてこの6月からみんな月一回はリアルで顔合わせして、同窓会のいろいろな面につき意見交換を行っております。次回会報についても、新理事の方々と相談しながら、そして皆様の意見を伺いながら、より良い会報を作っていきます。みなさまご期待ください！



事務局だより

前田幸司（7回生）

当時、関東同窓会には慣習があった、卒業30年（48歳）で総会懇親会の幹事を行うようになっていて、幹事を務めることになりました。

それが運・不運の始まりか？翌年、2回生の丸毛さん、織田さん他に薦められて、同窓会の会長になってしまいました。ノーと言えない長崎人でした。

会長を6年間務めて事務局長になって、とうに還暦を過ぎて、コロナの中の古希も過ぎ、通算24年にもなっていました。

会社組織なら上下関係・金銭関係で動かされていたでしょうけど、そんなのがない親睦団体の組織で、皆さんが前向きに協力・活動してくださった。人の「冥利」に尽きた24年間だったと思います。愉しかったです。ありがとうございます。

こうして時間が経って大きく世代



が変わっています。長崎南高校も大きく変化しています。そこで共に14回生ですが、会長を若杉さんに、事務局長を松田さんをお願いすることにしました。

すでに14回生の同級会はまとめられているので、その勢いと延長線上で関東同窓会をまとめながら継続させたいです。

せていただきたいと願いを込めています。

いままで以上に皆さんの前向きな行動と同窓会に参加する御協力を宜しくお願い致します。

決算書		長崎南高校関東同窓会	2023/12/31		
番号	項目	摘要	入金	出金	残高
		前年度繰越金	63,245		63,245
1	はたあげ				63,245
	会費	ビードロ会	0	20,000	43,245
	飲み物ほか	ビール・おつまみ	0	22,375	20,870
	運搬費	シート・椅子ほか	0	21,600	(730)
2	会報				(730)
	切手	84 * 1300ほか	0	118,272	(119,002)
	印刷ほか	印刷・とじ込み・発送	0	148,946	(267,948)
3	年会費	年会費・寄付金含む	371,314	0	103,366
4	総会				103,366
	参加費	8000x87・来賓から	684,000		787,366
	お店支払	まい泉・青山本店		535,050	252,316
	イベントほか	来賓・設定・準備		140,056	112,260
5	年会費	まい泉にて納付分	86,000	0	198,260
6	長崎同窓会	交通費補助・お祝い		0	198,260
7	福岡同窓会	交通費補助・お祝い		40,000	158,260
8	関西同窓会	交通費補助・お祝い		40,000	118,260
9	ホームページ	3000x12		36,000	82,260
10	雑費	インク代他		24,000	58,260
		合計	1,204,559	1,146,299	58,260
		次年度繰越金		58,260	58,260

★オマケ

前田さんのお手伝い役で、フロムサウスの編集を担当してきた中村尚子（9回生、馬渡）です。私もとうとう最後になりました。

例えば、受験で上京するときの交通手段は寝台特急「さくら」でした。「浅間山荘事件」が起こったとき「さくら」に乗っていて、東京滞在中、ずっとテレビで事件の推移を見ていました。交通手段は少しずつ変わりました。急行「雲仙」も経験しましたが、寝台特急「あかつき」+新幹線、特急「かもめ」+新幹線、飛行機（スカイメイトも）などなど。いま、帰省の時は航空二社の「シニア割」です。年齢を重ねました。

フロムサウス 通巻三八号
 二〇二四年九月五日発行
 編集／発行人
 長崎南高校関東同窓会 江 勝弘
 発行所 長崎南高校関東同窓会
 〒183-0056 東京都府中市寿町
 2-3-11701 前田幸司方
www5.plala.or.jp/nagasakinokane/